

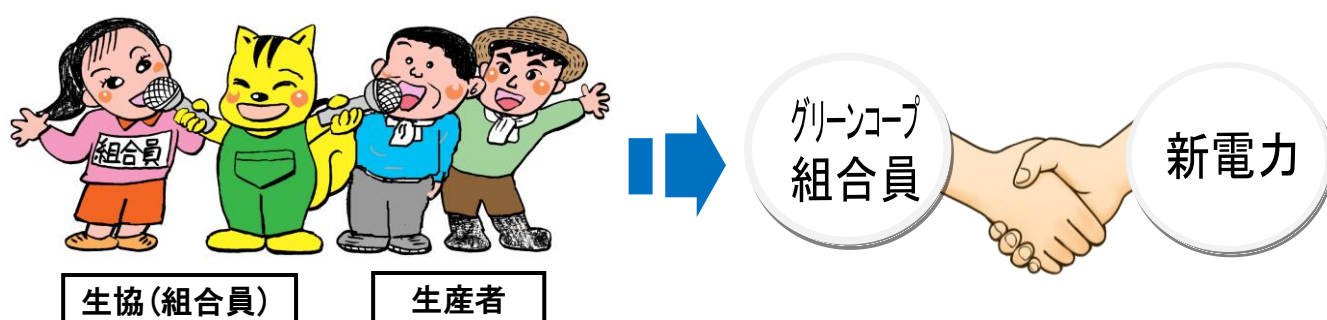
「グリーンコープでんき」はじめてみませんか？

①脱原発社会の実現を目指して、電気の供給をはじめました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災と東京電力第一原発事故は、生命（いのち）と原発は共存できない、事故発生後から今日までの国や電力会社の対応や再稼働に向けた動きを考えると、「自分たちで電気をつくる」という道に踏み出すことが、原発のない社会の実現に向かうことになると考えて電気の供給事業を始めました。

②安心・安全な食べものを作りだしてきたように

グリーンコープでは、「安心・安全な食べもの」を組合員自らが生産者やメーカーと話し合い、交流しながら共同購入というしくみを通して作り出してきました。同じように電気の小売り自由化を受け、グリーンコープの想いを理解してもらえる新電力の会社と提携し「でんきの共同購入」を通して原発フリーの電気と脱原発社会の実現を目指していきます。



③まずは「原発フリー」の電気を目指して

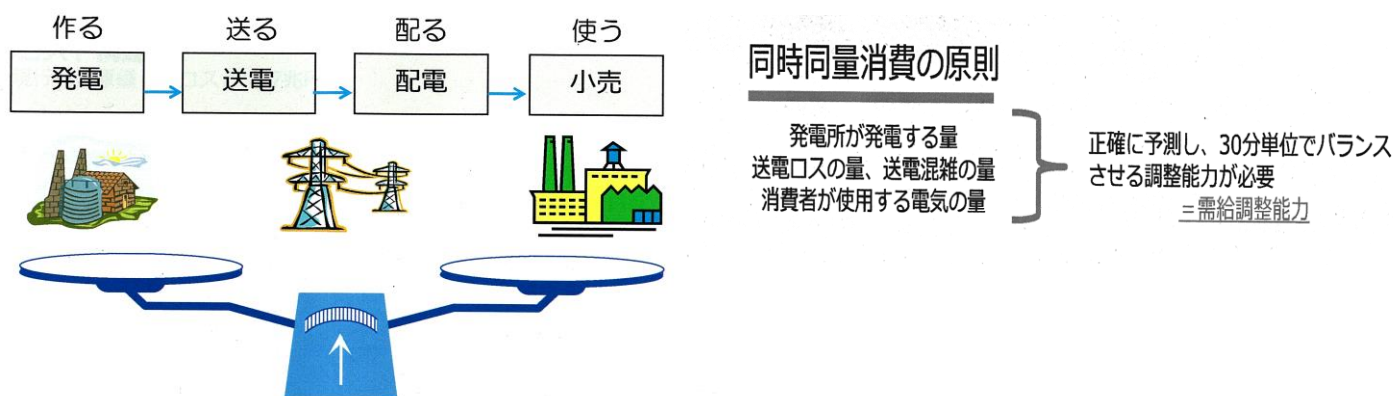
「グリーンコープでんき」は、スタート当初は完全に「原発フリー」と言える電気をお届けできる様子にはありません。

これは、電気事業を「同時同量」という原則の下で行う必要があるためです。つまり、停電させることがないように「発電量」、「送電量」、「消費量」はうまくバランスをとって調整されておく必要があります。そのため九州電力の電気も調整のために常時バックアップ電源として使用せざるを得ないという事情によります。

九州電力の電気には、稼働中の原発の電気が含まれていますから、九電からのバックアップ電源を使用せざるを得ない場合は「原発フリー」とは言えないことになります。

「原発フリー」の電気を確保していくには、安定的に必要とされる電気の量を把握し、「同時同量」を九州電力からの常時バックアップ電源なしで調整していく必要があります。

安定的に必要とされる電気の量を把握するには、一定規模の「量」が必要になります。



④「グリーンコープでんき」の共同購入に参加しましょう

「共同購入」による組合員の利用結集の力が、「安心・安全」な商品を作り育ててきました。食べものがそうであったように、「グリーンコープでんきの共同購入」へ多くの組合員の皆さんの利用が結集することで「原発フリー」の実現と、より安価な利用料金へと改善が図れます。

原発フリーの実現と、より安価な利用料金への改善を目指して、「グリーンコープでんき」の利用をはじめましょう。

